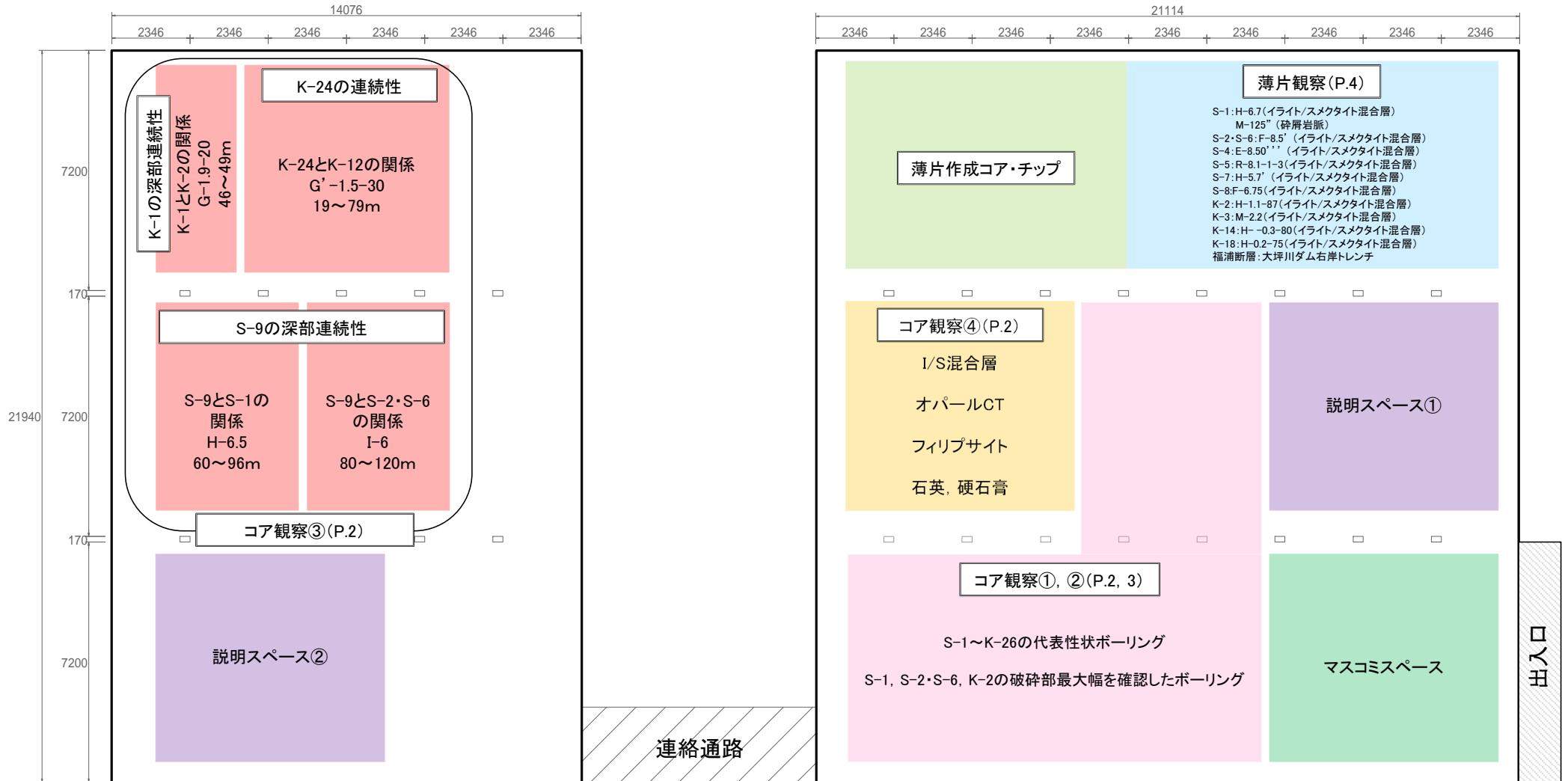


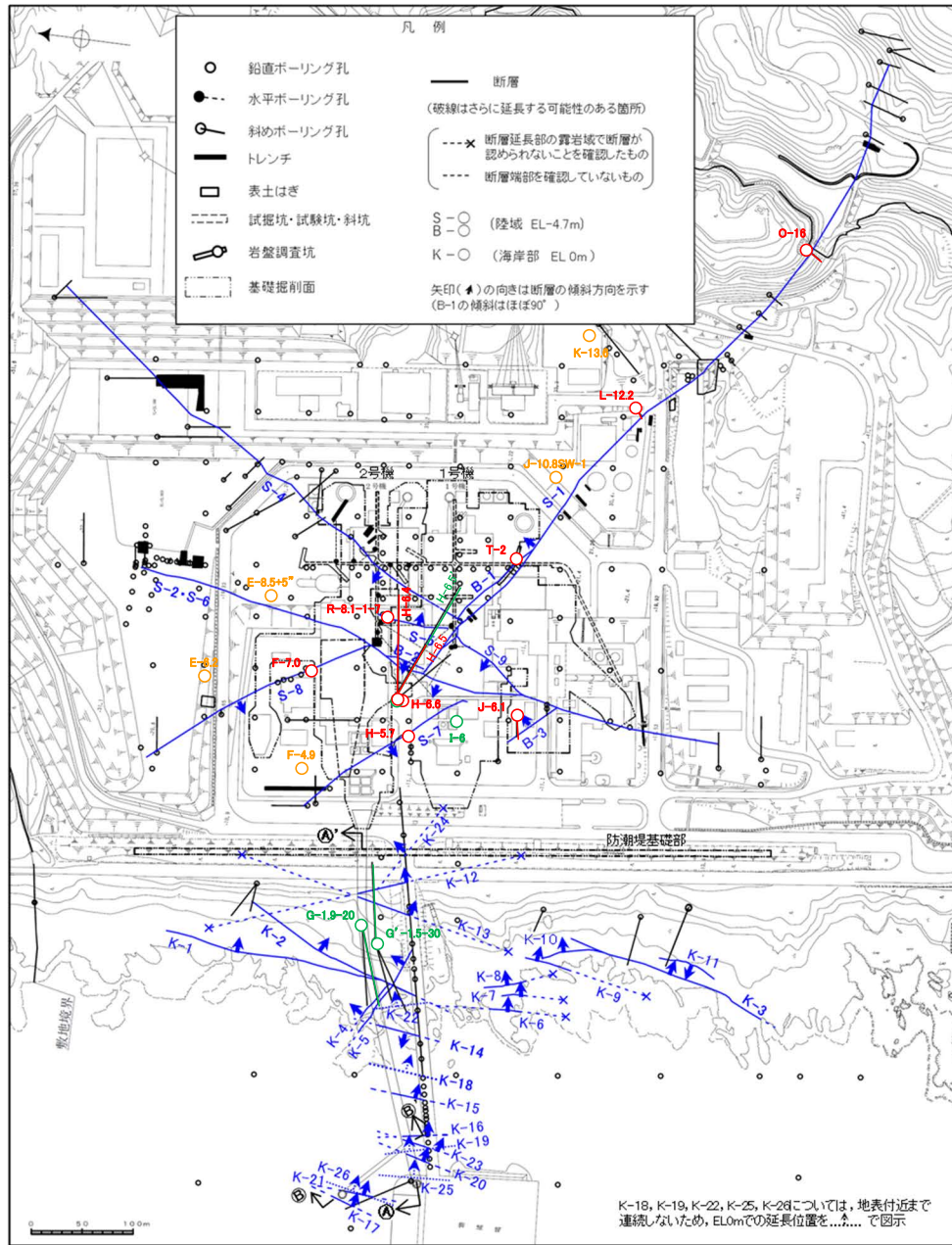
1日目 コア倉庫レイアウト(案)

- コア倉庫では、ボーリングコア観察と薄片観察を行います。
- ボーリングコア観察は、敷地内断層の性状の確認や断層規模の比較、連続性の確認を行います。
- 薄片観察は、評価対象断層に選定された断層の鉱物脈法により評価した薄片及び福浦断層の性状確認用の薄片を観察していただきます。



- ・コア観察①: 敷地内の各断層の代表的な性状について確認していただきます。
- ・コア観察②: 評価対象断層の選定における各断層の断層規模(ステップ2)について確認していただきます。
- ・コア観察③: 評価対象断層の選定における断層の連続性(ステップ3)について確認していただきます。
- ・コア観察④: 評価対象断層の活動性評価に用いている変質鉱物の性状について確認していただきます。

現地調査で説明予定の敷地内断層のボーリング一覧(1/2) (案)



平面図

コア観察①②のボーリング一覧(陸域)

断層名	説明予定ボーリング		
	孔名	区間	目的
S-1	O-16	18~21m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
	L-12.2	39~44m	・断層規模の比較(破砕部の最大幅)
S-2・S-6	H-6.4	33~36m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
	H-6.6	50~56m	・断層規模の比較(破砕部の最大幅)
S-4	H-6.4	93~96m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
S-5	R-8.1-1-7	31.7~34m	・代表的な性状の確認
S-7	H-5.7	12~14m	・代表的な性状の確認
S-8	F-7.0	15~18m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
S-9	H-6.5	78~81m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
B-1	T-2	0~3m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
B-2	H-6.4	42~45m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
B-3	J-6.1	27~30m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較

コア観察③のボーリング一覧

断層名	説明予定ボーリング		
	孔名	区間	目的
S-9	H-6.5'	60~96m	・連続性の確認 (S-9がS-1を超えて連続しないことを確認したボーリング)
	I-6	80~120m	・連続性の確認 (S-9がS-2・S-6を超えて連続しないことを確認したボーリング)
K-1	G-1.9-20	46~49m	・連続性の確認 (K-1がK-2を超えて連続しないことを確認したボーリング)
K-24	G'-1.5-30	19~79m	・連続性の確認 (K-24がK-12を超えて連続しないことを確認したボーリング)

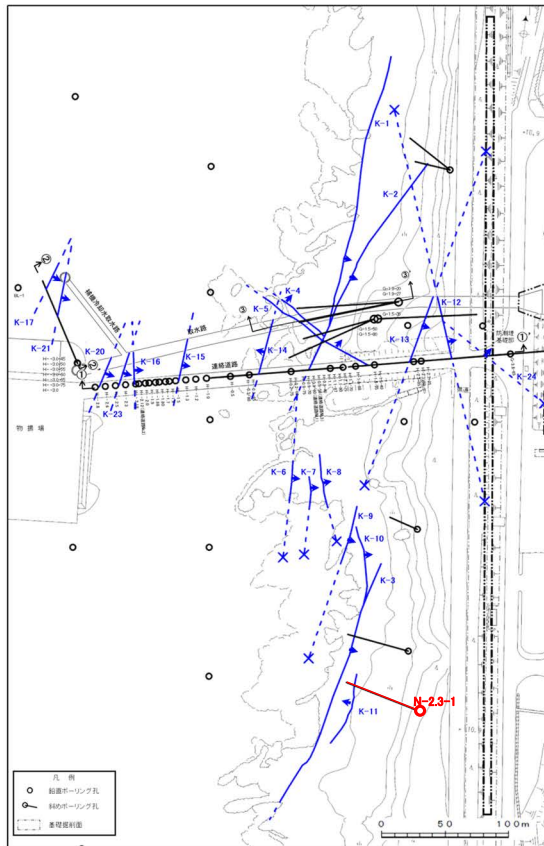
コア観察④のボーリング一覧

変質鉱物	説明予定ボーリング		
	孔名	区間	目的
イライト/スメクタイト混合層	E-8.5+5"	9~12m	・イライト/スメクタイト混合層の確認
	E-6.2	137~140m	・イライト/スメクタイト混合層の確認
オパールCT	F-4.9	135~138m	・オパールCTの確認
フィリップサイト	J-10.8SW-1	84~87m	・フィリップサイトの確認
石英	K-13.6	455~460m	・石英の確認
石英、硬石膏	K-13.6	730~735m	・石英、硬石膏の確認

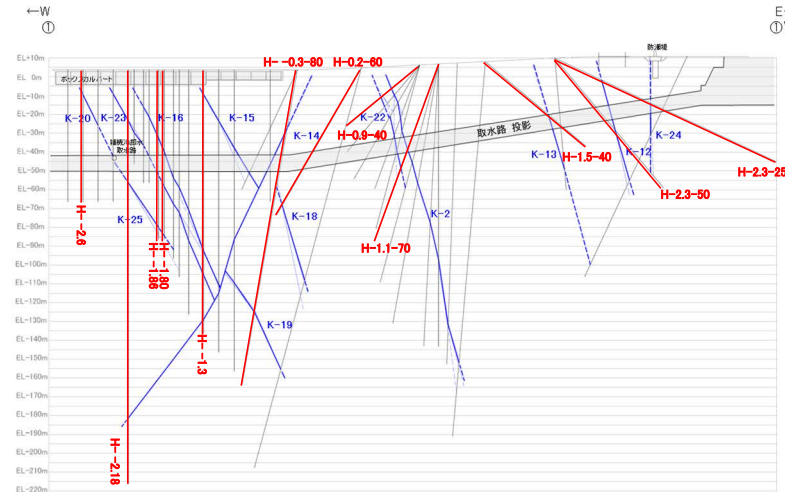
- ・コア観察①:敷地内の各断層の代表的な性状について確認していただきます。
- ・コア観察②:評価対象断層の選定における各断層の断層規模(ステップ2)について確認していただきます。
- ・コア観察③:評価対象断層の選定における断層の連続性(ステップ3)について確認していただきます。
- ・コア観察④:評価対象断層の活動性評価に用いている変質鉱物の性状について確認していただきます。

現地調査で説明予定の敷地内断層のボーリング一覧(2/2) (案)

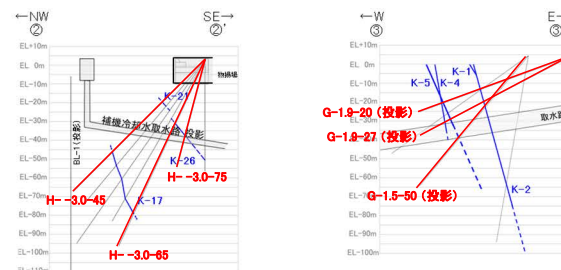
コア観察①②のボーリング一覧(海域)



平面図



①-①' 断面図



②-②' 断面図

③-③' 断面図

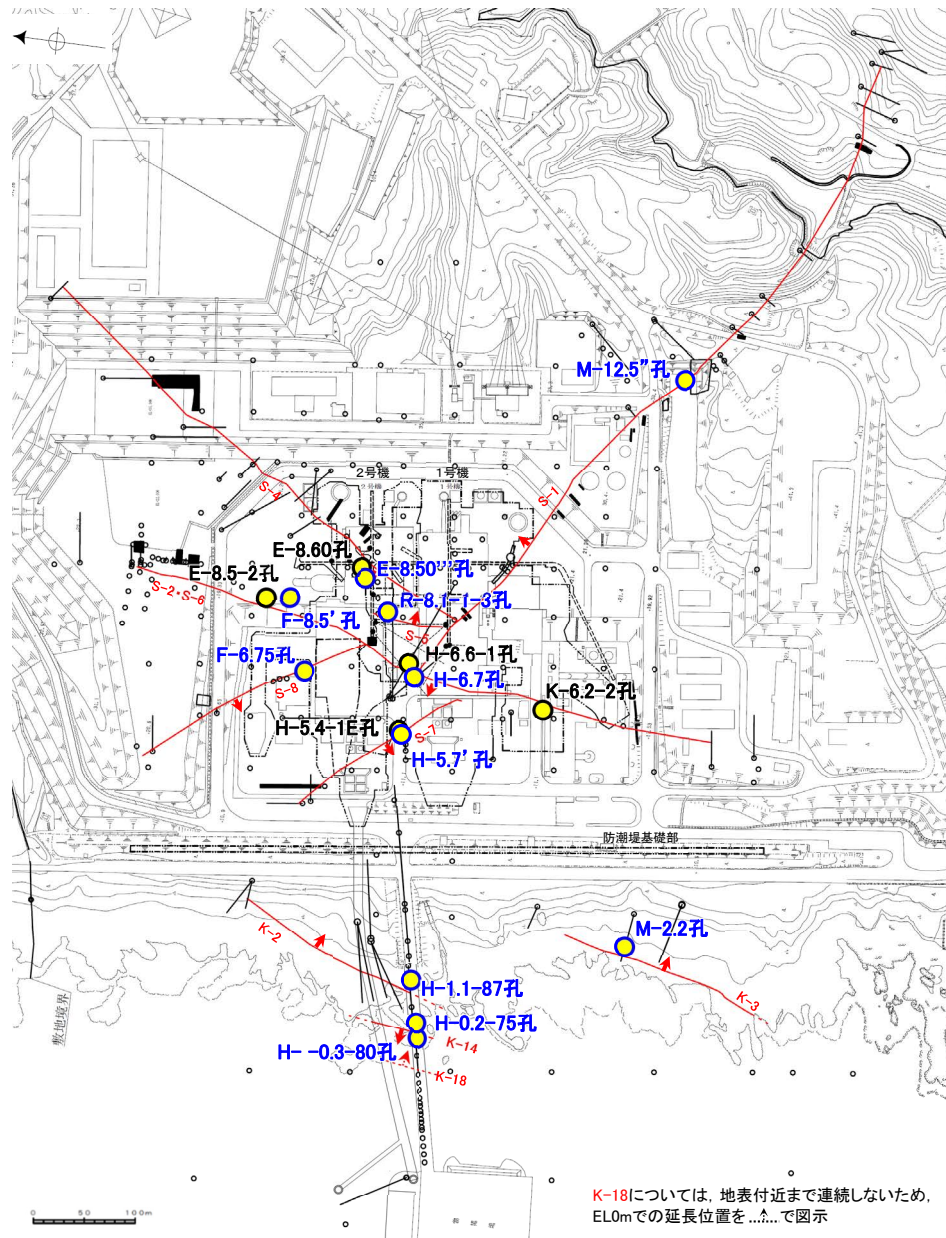
断層(主部を太線で表記)
(破線はさらに延長する可能性のある箇所)

断層名	説明予定ボーリング		
	孔名	区間	目的
K-2	G-1.5-50	42~45m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
	H-1.1-70	47~50m	・断層規模の比較(破砕部の最大幅)
K-3	M-2.2-2	78~81m	・代表的な性状の確認
	N-2.3-1	66~69m	
	N-2.3-2	84~87m	
	N-2.3-35	72~75m	
	O-2.1-40	84~87m	
K-4	G-1.9-20	69~72m	・代表的な性状の確認
K-5	G-1.9-27	78~81m	・代表的な性状の確認
K-12	H-2.3-50	48~51m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-13	H-1.5-40	42~45m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-14	H-0.3-80	27~32.6m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-15	H-1.2	26~29m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-16	H-1.86	35~38m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-17	H-3.0-65	89~92m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-18	H-0.2-60	83~86m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-19	H-0.3-80	128~131m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-20	H-2.6	11~14m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-21	H-3.0-45	32~35m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-22	H-0.9-40	27~30m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-23	H-1.80	59~65m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-24	H-2.3-25	54~57m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-25	H-2.18	59~62m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較
K-26	H-3.0-75	42~45m	・代表的な性状の確認 ・断層規模の比較

- ・コア観察①:敷地内の各断層の代表的な性状について確認していただきます。
- ・コア観察②:評価対象断層の選定における各断層の断層規模(ステップ2)について確認していただきます。

現地調査で説明予定の薄片一覧(案)

青字: 現地調査で説明予定の薄片



鉍物脈法に関する調査位置図

敷地の評価対象断層の鉍物脈法による評価地点

評価対象断層		鉍物脈法 ()は、評価に用いた変質鉍物等	今回ご説明 予定の薄片	第935回審査会合で ご確認いただいた薄片
S-1	3地点	H-6.6-1孔(イライト/スメクタイト混合層) H-6.7孔(イライト/スメクタイト混合層) M-12.5"孔(碎屑岩脈)	— ○ ○	— ○ ○
S-2・S-6	3地点	K-6.2-2孔(イライト/スメクタイト混合層) F-8.5'孔(イライト/スメクタイト混合層) E-8.5-2孔(イライト/スメクタイト混合層)	— ○ —	— — —
S-4	2地点	E-8.50"孔(イライト/スメクタイト混合層) E-8.60孔(イライト/スメクタイト混合層)	○ —	— —
S-5	1地点	R-8.1-1-3孔(イライト/スメクタイト混合層)	○	○
S-7	2地点	H-5.4-1E孔(イライト/スメクタイト混合層) H-5.7'孔(イライト/スメクタイト混合層)	— ○	— ○
S-8	1地点	F-6.75孔(イライト/スメクタイト混合層)	○	—
K-2	1地点	H-1.1-87孔(イライト/スメクタイト混合層)	○	○
K-3	1地点	M-2.2孔(イライト/スメクタイト混合層)	○	○
K-14	1地点	H-0.3-80孔(イライト/スメクタイト混合層)	○	—
K-18	1地点	H-0.2-75孔(イライト/スメクタイト混合層)	○	—

敷地周辺の活断層の薄片作成地点

断層		薄片作成地点	今回ご説明 予定の薄片	第935回審査会合で ご確認いただいた薄片
福浦断層	2地点	大坪川ダム右岸トレンチ 大坪川ダム右岸南道路路面	○ —	○ —

凡例

○	鉛直ボーリング孔	—	評価対象断層 (破線はさらに延長する可能性のある箇所)
●	水平ボーリング孔	S-○	(陸域 EL-4.7m)
○	斜めボーリング孔	K-○	(海岸部 EL0m)
—	トレンチ	矢印(➤)の向きは断層の傾斜方向を示す	
□	表土はぎ		
---	試掘坑・試験坑・斜坑		
⌘	岩盤調査坑		
□	基礎掘削面		
		【活動性評価地点】	
		●	鉍物脈法(現地調査で説明予定)
		●	鉍物脈法(必要に応じて説明)

(参考)敷地(陸域・海岸部)の評価対象断層の選定

■評価対象断層の選定は下記に示す手順で行う。

【隣接する断層に並走する小規模な断層の検討】

隣接する断層に並走する規模が小さい断層については、水平方向や深部方向の分布の関係、断層形成過程に関する知見に照らした検討により、**隣接する断層の一部であるか否かについて検討し、一部であると判断される場合には、隣接する断層に評価を代表させる。**

【4項目のデータに基づく系統区分】

敷地の断層は、いずれも穴水累層中に分布し、固結した破碎部(一部、粘土状破碎部を介在)からなり、破碎部の鉱物組成が類似している。このため、**活動時期に関連する「走向」、「傾斜」、「運動方向(固結した破碎部)」、「運動方向(粘土状破碎部)」の4項目のデータに基づき、系統区分を行う。**

【ステップ1 切り合い関係による新旧検討】

会合部の切り合い関係により、新旧を明確に判断できる場合は、相対的に活動が新しいと判断したものを**評価対象断層**として選定し、古いと判断したものは**評価対象とせず**、新しいと判断したものに評価を代表させる。

【ステップ2 系統区分・断層規模、重要施設との位置関係による検討】

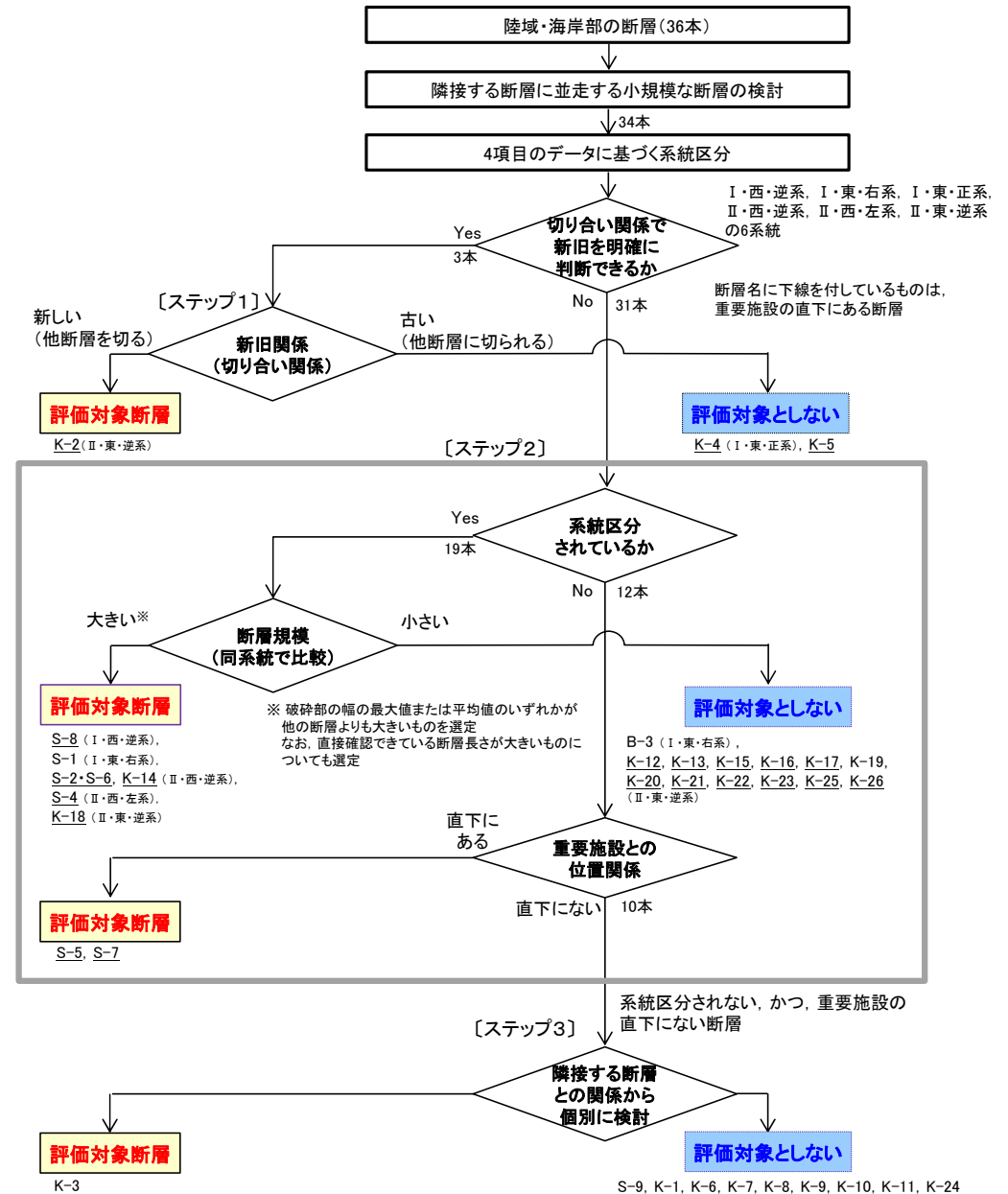
切り合い関係により、新旧を明確に判断できない場合は、系統区分の結果に基づき、同系統に区分される断層のうち、「断層規模が大きい断層」※を**評価対象断層**として選定し、同系統で「断層規模が小さい断層」は**評価対象とせず**、「断層規模が大きい断層」に評価を代表させる。

さらに、系統区分されない断層のうち、重要施設の直下にある断層は、断層規模に関わらず、変位・変形の有無を確認することとし、すべて**評価対象断層**として選定する。

※破碎部の幅の最大値または平均値のいずれかが他の断層よりも大きいものを選定する。
なお、直接確認できている断層長さが大きいものについても選定する。

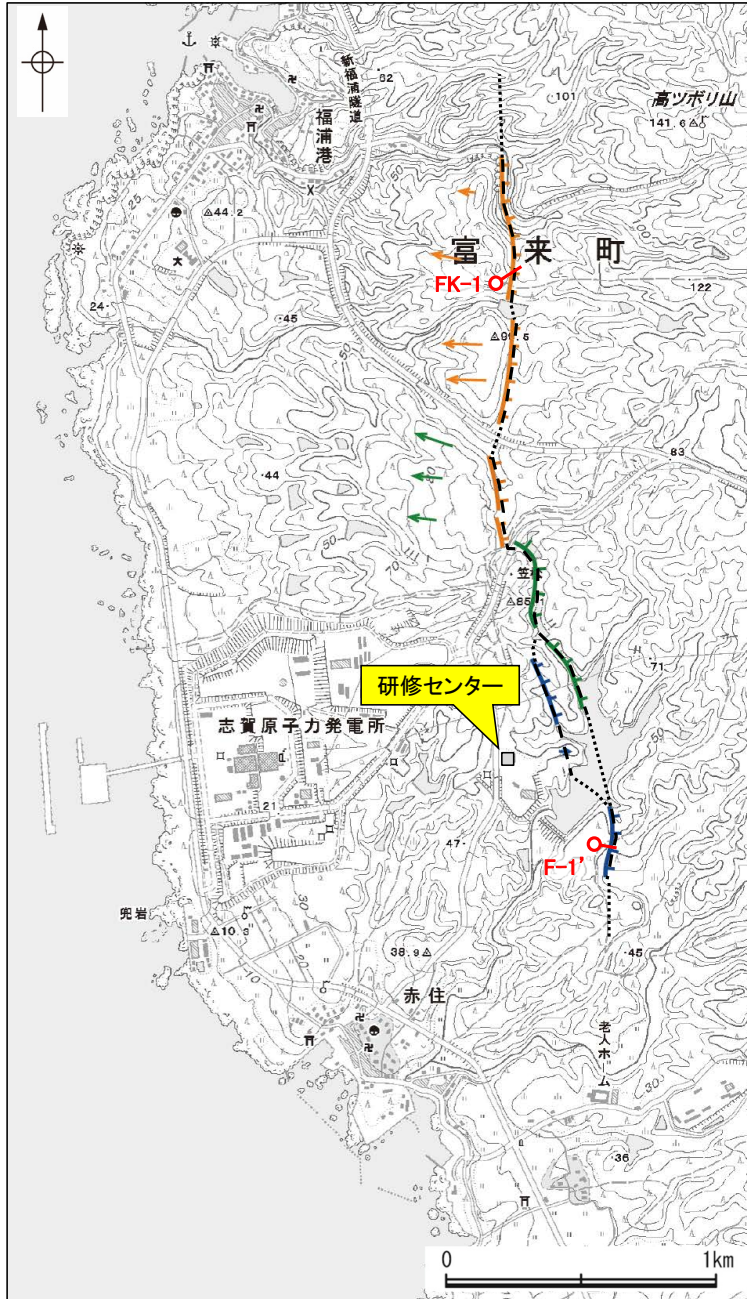
【ステップ3 隣接する断層との関係からの個別検討】

系統区分されない、かつ、重要施設の直下でない断層については、それぞれの断層について隣接する断層との関係から個別に検討し、**評価対象断層か評価対象としないか**を判断する。



評価対象断層: S-1, S-2・S-6, S-4, S-5, S-7, S-8, K-2, K-3, K-14, K-18

2日目 福浦断層のボーリング一覧(案)



位置図

○2日目の福浦断層のボーリングコアの確認については、発電所外の研修センターを予定しています。
 ○詳細なレイアウトについては現在、検討中となりますが、説明するボーリングは以下の表の2孔を予定しています。

福浦断層を確認したボーリング一覧

断層名	説明予定ボーリング		
	孔名	区間	目的
福浦断層	FK-1	45~60m	・性状の確認 (受堤北方周辺のボーリング)
	F-1'	24~39m	・性状の確認 (大坪川左岸のボーリング)